

諸家系譜

位  
 長尾 長屋 長崎 長野  
 長瀧 長山 長沼 長嶋  
 永嶋 永倉

共二百廿五冊

共八十五



庫文官政大			
三三五	三三六	三三九	和書門
冊	架	函	號類

庫文閣内			
三三五	三三六	三三九	和書
函	冊	架	類

内閣文庫	
番號和	32649
冊數	225(165)
函號	156 23

平氏  
小笠原系若狭守公出

平氏  
北百六千番〇 堀田守公出

系譜

平  
長文流

小笠原系若狭守公出  
長尾重房

平姓 長尾

先祖長尾内膳正景

永禄年中北條氏直奉仕後

御當家

同族正父後河原庄住持宗景

上秋家出

春之紋 三ツ巴並巴之字三春

秋之紋 三ツ巴

智之紋 打後五七之桐

長尾内膳正景三代目庄右門景信二男

景貞

母

妻

寛永二十癸未年生江府

右景貞父景信在由田中三原氏

之

寛永廿癸未年久坂城落氏行

嚴者公神代

寛文三癸卯年三月七日部屋後二男

石 正出大由 是乃丹波守傳入二十年  
女之

日五乙巳年十二月廿五日新祝山名信揚

元禄三年午年三月廿二日桐之向山名

日四辛卯年二月廿八日山名信入

日六壬申年三月廿九日大由島斤相傳正傳

内書者 二條大后度教之知

日十一巳卯年四月廿八日山名信相年三月廿八日入

日九辰卯年三月廿八日山名信

日八辰卯年三月廿八日死 八十

葬所 山名信 一行院 号宗岳院 相傳

某

延宝六年 申年六月廿六日死

万寿寺

某

元禄四年 未年十二月十日死

飛三郎

景友

室永三 丙戌年三月廿七日山名信相年三月廿八日  
伯父景尾七系信揚年長子成

隱名 相傳

日勝



景忠 友三郎

弟乃景貞子

景義 友七郎

弟乃景貞子

景東 友八郎

弟乃景貞子

景數 友九郎

父乃景貞子

景親 友十郎

弟乃景貞子

女子 友十一郎

弟乃景貞子

景成

友一

景母

友人 弟乃景貞子

景父

友人 弟乃景貞子

景母

友人 弟乃景貞子

景

友人 弟乃景貞子

景

友人 弟乃景貞子

友人 弟乃景貞子

友人 弟乃景貞子

友人 弟乃景貞子

景

友人 弟乃景貞子

友人 弟乃景貞子

友人 弟乃景貞子

景幸

母

三喜

日守子能女

三喜

父後景成跡任之永年以之儀揚

功目山景信入

享保七庚子年之月日死

葬赤川

号性善院法名精若

右跡任跡任之儀以之

三喜

女子

三喜

景忠

母

実父

妻

長尾七喜信勝女

長尾景友

室永五甲子年六月十日生

享保六年五月五日死

續

門七喜年之月日跡任之儀揚

小喜子跡任川澄跡任之儀入

三喜

日中三戌甲申年三月九日死二十  
葬洲日本 号 高帝院 后 女室

景東

后仰

后仰

实母

号

实父

号 景友

实母

号 友文女

实母

号 友文女

享保六年辛丑年八月廿日生

日中三戌甲申年三月九日死

日中七月十日 号 景友

号 景友

宝曆九年卯年十一月十日 号 景友

号 景友

号 景友

日中二年二月十日 号 景友

号 景友

号 景友

号 景友

号 景友

御紀元三年正月十日  
御紀元三年正月十日

御紀元三年正月十日  
御紀元三年正月十日

禁裏

御紀元三年正月十日  
御紀元三年正月十日

御紀元三年正月十日  
御紀元三年正月十日

御紀元三年正月十日  
御紀元三年正月十日

御紀元三年正月十日  
御紀元三年正月十日

御紀元三年正月十日  
御紀元三年正月十日

御紀元三年正月十日  
御紀元三年正月十日

御紀元三年正月十日  
御紀元三年正月十日

御紀元三年正月十日  
御紀元三年正月十日

御紀元三年正月十日  
御紀元三年正月十日

御紀元三年正月十日  
御紀元三年正月十日

御紀元三年正月十日  
御紀元三年正月十日

御紀元三年正月十日  
御紀元三年正月十日

御紀元三年正月十日  
御紀元三年正月十日

禁裏

御紀元三年正月十日  
御紀元三年正月十日

御紀元三年正月十日  
御紀元三年正月十日









正八年中年二月廿日人... 院大...  
 於山陽 時後二...  
 寛政三... 山陽 及...  
 山三... 山陽 及...  
 大... 山陽...  
 山... 山陽...  
 山... 山陽...  
 山... 山陽...

女子 早世

母上曰

長女 子依

實父 母亦女

相承... 分... 亦...

伊東... 寛... 女

安永八... 寛... 年... 月... 日... 江... 院...

山... 山... 山... 山...

山... 山... 山... 山...

景武

景武

景武



口筆より... 長尾藤兵衛

高部... 本國上野

寛政十三年

長尾藤兵衛 為

七十九

後... 出

平氏... 堀田

系譜

平 長尾流

少... 長尾

長尾 藏



平姓

長尾

元祖長尾内膳正正景永源年中景武

正奉公仕侍

河内家河内正奉公仕侍

年月未定家内膳正父河内何部何村

后任仕何某中中河内正奉公仕侍

中河内正奉公仕侍

幕後 三原左巴

家之紋

口の

帯之紋

町接

長尾の孫正景公之代

長尾正景公之孫信三男

信三男

母

杉公依乃女

業

浦中権乃女

正保四丁亥年八月日右知持列生

右信持父正景公之孫信三男



三郎次郎おかしら

寛永二十五年未年八月、不知大坂の跡絶

りたりは、信長おかしら御大坂大坂

はる大坂の跡、是乃る上りおかしら也

おかしら御大坂の跡、是乃る上りおかしら也

おかしら御大坂の跡、是乃る上りおかしら也

上関のち、おかしら御大坂の跡、是乃る上りおかしら也

三郎次郎おかしら御大坂の跡、是乃る上りおかしら也

寛文八年申年八月、信長おかしら御大坂の跡、是乃る上りおかしら也

おかしら御大坂の跡、是乃る上りおかしら也

おかしら御大坂の跡、是乃る上りおかしら也

寛文元年 甲子年 八月十八日 おかしら御大坂の跡、是乃る上りおかしら也

おかしら御大坂の跡、是乃る上りおかしら也

おかしら御大坂の跡、是乃る上りおかしら也

元禄五年申年十一月、おかしら御大坂の跡、是乃る上りおかしら也

二月、おかしら御大坂の跡、是乃る上りおかしら也

寛永元年、おかしら御大坂の跡、是乃る上りおかしら也

おかしら御大坂の跡、是乃る上りおかしら也

おかしら御大坂の跡、是乃る上りおかしら也

正徳五年未年、おかしら御大坂の跡、是乃る上りおかしら也

家督卷子為高宗友也下主願同  
 心城之及之何為之好年八月之  
 利發仕信勝心改名信之  
 享保四己亥年八月七日在病中  
 以舌鏡之信一仍流之 葬  
 法名在法院最忌常無

系友

養母  
 實父

南中權信女  
 長尾重長之實父二男

川孫知飛之由好為高宗友也

實母

信之實母女

妻

信勝女

好妻

細井九郎實父友文女

元祿十一己卯年八月廿九日於武藏出生

有章院標所代系友實父長尾重長之

系貞以男也世々如養父信勝男子

子也世々如信勝之系友也

養子之信勝也

寬永三丙戌年上日卒于形也

正徳乙未年上日卒于父信勝



養化口身 法澤院 志孝梅翁

女子

佛方(佛)

志孝子志友書

母

浦野 隆子書

女子

一 信長福(子)

三 田原(子) 守保書

母

志孝

系忠

後三印

母

長尾七三郎信徳女

志孝保六年丑年 乙卯 志孝子 志孝書

系義

後七印

滋川 清波(子) 志孝 長尾 善(子) 志孝 養(子) 志孝

母

前日

志孝保六年丑年 乙卯 志孝子 志孝書

系東

志孝子 志孝書

志孝子 志孝書

母

細井 清(子) 志孝 友(子) 志孝

志孝保十三年申年 七月 志孝子 志孝書

系忠 養(子) 志孝

志孝子 志孝書

系教

母

志孝



妻

好書

少人路公可也他

花田新右左衛門定房女

細井宗之助侍部女

享保三丁未年十二月廿一日歿

史言子元丑年十二月廿七日父京友子丸

通河右衛門 侍部宗之助侍部

永井宗之助入主後川橋宗之助

室曆三卷西年本宗由水村照高馬

以之口口夜夜之乃深川宗之助大塚原

町之口口口口口口口口口口口口口口

形之口口口口口口

室曆十庚辰年二月廿一日歿

川口宗之助之孫之口口口口口口口口

作舟舟相和宗之助

口口口口口口口口口口口口口口

口口口口口口口口口口口口口口

口口口口口口口口口口口口口口

口口口口口口口口口口口口口口

口口口口口口口口口口口口口口

口口口口口口

口口口口口口口口口口口口口口



三三三少善所但没果云云云云  
亦从局方大原久保下云云  
口年八月十日云云  
宝曆十巳丑年大坂在夏丹内云云  
但云云云云  
明和六巳丑年二條在夏丹内云云  
但云云云云  
り九王辰年大坂在夏丹内云云  
但云云云云  
安永七戌成年大坂在夏丹内云云

女中宿別お梅  
寛政二庚戌年小宮京也云云  
大坂在夏丹内云云  
但云云云云  
同三年亥年巳月方云云  
病死葬地云云  
系親 庄方知云云  
延享二己丑年巳月云云  
正延卷子云云  
母  
細井治左文女

女子

表のり

津田江藤の玄孫書

母

生

系定

生

母

半人坊のり

花田のり

室曆六丙子年十一月九日

明和九壬辰年七月九日

父系定

後明公

沖月

寛政三年

武

寛政

沖月

生

月八丙辰年

寛政九年

依

下

之

修

貞和元年九月廿八日  
貞和元年十月廿九日  
貞和元年十一月廿九日  
貞和元年十二月廿九日

女子

母

前日

系利

母

正白

日向寺

知念

細井宗之助孫女

母

前日

寛政六年甲寅年七月廿九日  
寛政六年八月廿九日  
寛政六年九月廿九日  
寛政六年十月廿九日

卷女

利屋

寛政六年八月廿九日  
寛政六年九月廿九日  
寛政六年十月廿九日  
寛政六年十一月廿九日

安永三年甲午年八月廿九日  
安永三年九月廿九日  
安永三年十月廿九日  
安永三年十一月廿九日

某

仲命 早世

某

母

家女

某

母

家女

母

家女

長尾隆元

之

如國上

月成爲古名原住者前橋町

長尾隆元

長尾隆元

南分牛之中山

長尾隆元

寛政十二己未年十一月

長尾隆元

印

未立有印  
石橋下橋号分出

系譜

平氏

印号之石橋号  
石橋下橋号

印号之石橋号  
石橋下橋号

大所  
石橋下橋号  
長尾隆元



平姓

長尾

先祖長尾田原正百景水滸岸中山系氏也其子正信

其後

中山系より移りて其の末裔なり

慶長五年九月五日没す

常陸

三ノ宮村巴 養巴 子三ノ宮

赤松

三ノ宮村巴

那須

行後

の原正景

景元

母三ノ宮 妻中山系氏也其子

水滸岸中山系氏也其子

正景の末裔なり

権原正景より少白系に力ありて其の末裔なり

景元正景の末裔なり

其の末裔なり

神原正景の末裔なり

少白系に力ありて其の末裔なり

慶長五年九月五日没す

其の末裔なり

京信

母三ノ宮氏也

妻中山系氏也其子

慶長十二年生れり

慶長十九年没す



元和八年年一令由國中...  
寛永十三年年...  
寛永十三年年...

寛永十三年年...  
寛永十三年年...  
寛永十三年年...

女 杉子... 年... 昌...

女 杉山... 女

寛永十三年年...  
寛永十三年年...  
寛永十三年年...

寛永十三年年...  
寛永十三年年...

寛永十三年年...  
寛永十三年年...

景貞... 長尾...  
寛永十三年年...

信揚... 長尾...  
寛永十三年年...

女 杉子... 杉山...  
寛永十三年年...

景... 杉山...  
寛永十三年年...

寛永十三年年...  
寛永十三年年...

寛文六年 十一月 十一日 水戸藩  
 寛文七年 十一月 十二日 水戸藩  
 寛文九年 十一月 十三日 水戸藩  
 寛文十一年 十一月 十四日 水戸藩  
 寛文十三年 十一月 十五日 水戸藩  
 寛文十五年 十一月 十六日 水戸藩  
 寛文十七年 十一月 十七日 水戸藩  
 寛文十九年 十一月 十八日 水戸藩  
 寛文二十一年 十一月 十九日 水戸藩  
 寛文二十三年 十一月 二十日 水戸藩  
 寛文二十五年 十一月 二十一日 水戸藩  
 寛文二十七年 十一月 二十二日 水戸藩  
 寛文二十九年 十一月 二十三日 水戸藩  
 寛文三十一年 十一月 二十四日 水戸藩  
 寛文三十三年 十一月 二十五日 水戸藩  
 寛文三十五年 十一月 二十六日 水戸藩  
 寛文三十七年 十一月 二十七日 水戸藩  
 寛文三十九年 十一月 二十八日 水戸藩  
 寛文四十一年 十一月 二十九日 水戸藩  
 寛文四十三年 十一月 三十日 水戸藩  
 寛文四十五年 十一月 三十一日 水戸藩

景久 長次郎

母 吉正氏女

書 幼少時 母村 景久 長次郎 女

寛文六年 十一月 十一日 水戸藩  
 寛文七年 十一月 十二日 水戸藩  
 寛文九年 十一月 十三日 水戸藩  
 寛文十一年 十一月 十四日 水戸藩  
 寛文十三年 十一月 十五日 水戸藩  
 寛文十五年 十一月 十六日 水戸藩  
 寛文十七年 十一月 十七日 水戸藩  
 寛文十九年 十一月 十八日 水戸藩  
 寛文二十一年 十一月 十九日 水戸藩  
 寛文二十三年 十一月 二十日 水戸藩  
 寛文二十五年 十一月 二十一日 水戸藩  
 寛文二十七年 十一月 二十二日 水戸藩  
 寛文二十九年 十一月 二十三日 水戸藩  
 寛文三十一年 十一月 二十四日 水戸藩  
 寛文三十三年 十一月 二十五日 水戸藩  
 寛文三十五年 十一月 二十六日 水戸藩  
 寛文三十七年 十一月 二十七日 水戸藩  
 寛文三十九年 十一月 二十八日 水戸藩  
 寛文四十一年 十一月 二十九日 水戸藩  
 寛文四十三年 十一月 三十日 水戸藩  
 寛文四十五年 十一月 三十一日 水戸藩

女 吉正氏

母 吉正氏 永田 景久 長次郎 女

母 吉正氏 女

正延 景久 長次郎

母 吉正氏

寛文六年 十一月 十一日 水戸藩  
 寛文七年 十一月 十二日 水戸藩  
 寛文九年 十一月 十三日 水戸藩  
 寛文十一年 十一月 十四日 水戸藩  
 寛文十三年 十一月 十五日 水戸藩  
 寛文十五年 十一月 十六日 水戸藩  
 寛文十七年 十一月 十七日 水戸藩  
 寛文十九年 十一月 十八日 水戸藩  
 寛文二十一年 十一月 十九日 水戸藩  
 寛文二十三年 十一月 二十日 水戸藩  
 寛文二十五年 十一月 二十一日 水戸藩  
 寛文二十七年 十一月 二十二日 水戸藩  
 寛文二十九年 十一月 二十三日 水戸藩  
 寛文三十一年 十一月 二十四日 水戸藩  
 寛文三十三年 十一月 二十五日 水戸藩  
 寛文三十五年 十一月 二十六日 水戸藩  
 寛文三十七年 十一月 二十七日 水戸藩  
 寛文三十九年 十一月 二十八日 水戸藩  
 寛文四十一年 十一月 二十九日 水戸藩  
 寛文四十三年 十一月 三十日 水戸藩  
 寛文四十五年 十一月 三十一日 水戸藩







寛政十一年 西月 三男 豊成 右衛門 美成  
 天保七年 八月 九日 幼少 出陣 見  
 天保六年 八月 九日 幼少 出陣 見  
 寛政十一年 三月 九日 幼少 出陣 見  
 寛政十一年 三月 九日 幼少 出陣 見  
 秀房 山崎 右衛門

母 三右

女 物 田 藤 花 福 心 右 衛 門 美 成 又 書

母 三右

女 天 母 三右

景定 傳 三右

景高 全 三右

母 三右

天保初年 七月 幼少 出陣 見  
 天保初年 七月 幼少 出陣 見  
 天保初年 七月 幼少 出陣 見  
 天保初年 七月 幼少 出陣 見

寛政十一年 西月 三男 豊成 右衛門 美成

寛政十一年 西月 三男 豊成 右衛門 美成

未 七 年 三



栲

姓

長尾氏

栲古の尾尾秀西海海栲号の由是  
栲古の尾尾と成りて尾尾と成りて尾尾  
先程長尾大尾尾資村栲古の尾尾  
川於西長尾大尾尾栲古の尾尾  
栲古の尾尾と成りて尾尾

幕

九尾三尾栲

家

左の

政

三蓋栲三尾栲尾尾色

資政

尾尾の尾尾 栲古の尾尾 二入 尾尾

母 三子

書

栲古の尾尾の尾尾

栲古の尾尾の尾尾の尾尾の尾尾  
栲古の尾尾の尾尾の尾尾の尾尾  
栲古の尾尾の尾尾の尾尾の尾尾  
栲古の尾尾の尾尾の尾尾の尾尾  
栲古の尾尾の尾尾の尾尾の尾尾  
栲古の尾尾の尾尾の尾尾の尾尾  
栲古の尾尾の尾尾の尾尾の尾尾  
栲古の尾尾の尾尾の尾尾の尾尾  
栲古の尾尾の尾尾の尾尾の尾尾  
栲古の尾尾の尾尾の尾尾の尾尾

資政

栲古の尾尾 尾尾 尾尾

母 松倉長子重次女  
妻 九年三月廿一日

万治二、三年月日、京都指所河  
南郡真福寺孫資元流胤清子  
流胤習仁浪人、陰形所執任且  
松平中曹大補家、其母、及下流、必  
松平忠兵衛方、合方、投所、清由地、陰形  
所執任、也  
寛文保三年二月八日、半、死、年、六、七、歳  
号、録水、陰形

女子 三、五、七、九

母 松平三郎之柳、  
養父 之橋文吉、  
文昭院極代、 坪内儀中、与、定隆

寶永三年甲申、年、月、日、  
正、一、子、松、岩、  
資正

母 口上

孫資元流胤、清由、所執任、松平、破、  
方、合方、投所、更、浪人、合、由、地、也、  
天、保、二、三、年、三、月、廿、四、日、死

資正 从、松、岩、三、子、一、子、也、







清之室想以昔原身所資色父下之死  
有是也其甚危又治所資始孀孫也從  
後者自教也其能之其言乃之其以安也子  
於其也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也

易陽大少也其死也其言乃之其以安也子  
於其也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也

澤喜

母 一

昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也

西德元年九月九日死

幼

母 一

昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也  
其年也 昭和九年十月八日於其也

陽雅

百助 皇太子一子 一子 皇太子 皇太子

母 〇

慶應元年 卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月

皆色

元松 又多 又多 又多

母

神谷 卯辰三月 卯辰三月

妻

尾崎 卯辰三月 卯辰三月

元保九年 卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月

元保九年 卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月

卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月

卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月

卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月

卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月

卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月

卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月

将兵手

卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月

妻

神谷 卯辰三月 卯辰三月

卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月

卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月

妻

神谷 卯辰三月 卯辰三月

卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月 卯辰三月

懐信院御代



渡河原御所式

寛政十四年六月十日... 渡河原御所式

寛政十四年七月十日... 渡河原御所式

寛政十四年七月十日... 渡河原御所式

寛政十四年七月十日... 渡河原御所式

寛政十四年七月十日... 渡河原御所式

寛政十四年七月十日... 渡河原御所式

寛政十四年七月十日... 渡河原御所式

寛政十四年七月十日... 渡河原御所式

寛政十四年七月十日... 渡河原御所式

古く 山見んを思慕す 修身と云ふ事  
まじりて其の徳を修む事あり 修身と云ふ事  
十人の大徳を修む事あり 修身と云ふ事  
大徳を修む事あり 又いふに 修身と云ふ事  
修身と云ふ事あり 又いふに 修身と云ふ事  
修身と云ふ事あり 又いふに 修身と云ふ事  
修身と云ふ事あり 又いふに 修身と云ふ事  
修身と云ふ事あり 又いふに 修身と云ふ事  
修身と云ふ事あり 又いふに 修身と云ふ事  
修身と云ふ事あり 又いふに 修身と云ふ事

漢書卷の 修身と云ふ事あり 又いふに 修身と云ふ事  
修身と云ふ事あり 又いふに 修身と云ふ事  
修身と云ふ事あり 又いふに 修身と云ふ事  
修身と云ふ事あり 又いふに 修身と云ふ事  
修身と云ふ事あり 又いふに 修身と云ふ事  
修身と云ふ事あり 又いふに 修身と云ふ事  
修身と云ふ事あり 又いふに 修身と云ふ事  
修身と云ふ事あり 又いふに 修身と云ふ事  
修身と云ふ事あり 又いふに 修身と云ふ事  
修身と云ふ事あり 又いふに 修身と云ふ事







相平御書云々  
七月廿一日

口奉日月天台川舟改行  
傷死生々々々々々々々々  
秋中も何々何々何々何々  
日事下下下下下下下下下下  
月信之々々々々々々々々々  
不立合々々々々々々々々々  
此御書之文世丹後中御  
日事下下下下下下下下下下

口六 亥年八月廿五日  
官本 亥年八月廿五日  
何々々々々々々々々々々々  
右右右  
秋相平御書云々



桐神...  
 對...  
 中...  
 夫...  
 少...  
 日...  
 主...  
 一...

資用

出納

母 女子

安...  
 實...  
 前...  
 公月足水

資利

夫...  
 實...  
 實...  
 長...  
 安...

女子

寛政八十年三月... 女子... 寛政八十年三月... 女子... 寛政八十年三月... 女子...

實母

高母

養母

右... 實母... 高母... 養母...

養女

養母

以上

實父

實母

實母

寛政七十年... 實母... 實父... 實母...

女子

母

山... 女子... 母... 山...

系

天明元... 系... 天明元... 系...

母

玉... 母... 玉... 母...



某

母

常世

り

女子

母

長尾貫了中次女

右之也

如國傳

右之也 長尾貫了中次女 長尾貫了中次女 長尾貫了中次女

之也

如國傳

長尾貫了中次女

寛政上巳未年十二月

未上巳未年十二月

系譜

長尾貫了中次女

な 医師 新

長尾分哲

橋姓

長身少

敏道天皇乙亥四年皇太子行由事、橋男竹田刑部之  
後胤、復還國、由事郎長身、長身、長身、長身、長身、長身、  
之末流

善之政

九月三橋

政之政

九月三橋

政之政

三橋松

養壽

御名長身、長身、長身

右全庵依、濱州之養文、十濱州町、  
之也、水乃中、

本年九月、少知、松平、濱州、  
右、

寛文年中、榎村、  
或、

天保元年、  
或、

元治元年、  
或、

天保四年、  
或、

元治五年、  
或、

元禄六年庚申年二月廿二日  
於波田村之西  
尾

富山守申年三月廿二日  
富山守申年三月廿二日  
富山守申年三月廿二日

日本七月廿二日  
奉書  
正列

對心及  
日本七月廿二日  
奉書  
正列

井之口

日本七月廿二日  
奉書  
正列

方幸度  
日本七月廿二日  
奉書  
正列







天保十八年十一月十日... 春書  
... 仲大 知名 居師 長尾 全庵

某 長尾又次郎

母 女

... 仲大

... 知名

仲大

母 女

... 長尾

... 知名

... 長尾





母中田氏女

元禄二年生歿

明和二年三月十八日死年九

葬河内号永松院真心日隆

寛文保二年三月十日生歿

寛文七年三月七日没河内度津守入川院

中田氏女

安永四年三月九日没河内度津守入川院

天明六年三月十日生歿

葬河内中田院

天明七年三月十日没河内度津守入川院

天明八年三月十日没河内度津守入川院

某 長尾金丸

母方

寛文三年三月十日生歿

宝永二年三月十日没河内

女

母方

寛文元年三月十日生歿

天明七年三月十日没河内

天明八年三月十日没河内

葬河内天輪岡

女

母方

天明二年三月十日生歿

天明八年三月十日没河内



女 上野国三毛郡一宮若狭守長躬妻  
大守

母 氏名  
室戸五三平四郎右衛門  
若狭守長躬

保親 幼名御子 長尾全庵

重父 長尾全庵  
長尾全庵

母 長尾全庵 仲大女

天保三年十一月廿七日  
長尾全庵 仲大女

高尾信 本國隠居 生年未詳

高尾信川 本國隠居 生年未詳

右 長尾全庵

寛政十三年十一月廿七日 長尾分哲

五

事りり  
戸田中務少輔

系譜

年  
少  
戸田中務少輔

年  
新

少  
戸田中務少輔  
長

平氏

長屋

幕之紋

三葉柘  
五七ノ桐

幕之紋之系相は片々たる永保年中

薄皮指より其長屋分有る長正

依信長御之仕儀其功を以て桐幕

之紋賜御之右より幕之紋は

流之紋

五七ノ桐

亦之紋を以て其長屋分有る

薄皮指より其長屋分有る

長正依信長御之仕儀其功を以て桐

幕之紋賜御之右より幕之紋は

薄皮指より其長屋分有る

景惠

母幼少

中田公重女

妻 藤田氏

中田公重女

年月日之系生或は

右新より幕之紋父丈布也 西長御

丹波守方仕子方

帶憲公沖代年月日之母書世刺發任

東光院

文昭公下所乳持之新書之京初

年之月日之保七成年三月十日

於梅田 沖代方 西光院

人持持方之小書持入小林七郎

之是入三月日父文昭書之西光院

丹波守方仕子方

元禄九年三月十日梅田沖代

山本朝方之保方之保方之保方

右大目持方人持持之保方之保方

之保方之保方之保方之保方

元禄十三年三月十日

文昭公西丸之保方 今長以保任南丸之

保方之保方

四月九日 沖代方之保方

保方之保方之保方之保方

保方之保方之保方之保方

保方之保方之保方之保方



常憲公神宮西丸 沖波長良新公

系憲公病息多行世也其子長  
如和仕長良也如信神宮長良也  
石次神宮也及長良神宮也長良  
也

室永也子年三月長良病息也  
少志年也長良也長良年也長良  
也 英昭神宮也長良也

文昭公 没年純治四年一勝原長良也

系武

母

長良長良富長女

妻長良

中田長良女

元禄十五年三月長良也長良也

常憲公神宮西丸也長良也長良也

長良也長良也

長良也長良也長良也長良也

長良也長良也長良也長良也

長良也長良也長良也長良也

長良

信信公 弟中丸下り也 弟長徳公

澄の公 弟乃 附々々 弟中丸下り也

板倉新治公 弟乃

富原正三郎 弟乃 弟中丸下り也

三好長房 弟乃 弟中丸下り也

号 公 弟乃 弟中丸下り也

正徳二辰年 弟乃 弟中丸下り也

弟中丸下り也 弟乃 弟中丸下り也

弟中丸下り也 弟乃 弟中丸下り也

女子 西九表 弟乃 弟中丸下り也

母 右白

女子 弟乃 弟中丸下り也

母 右白

系忠 弟乃

中田長右衛門 女

幸日 弟乃 弟中丸下り也

實人 弟乃 弟中丸下り也

福地 弟乃 弟中丸下り也

号 別教院 弟乃 弟中丸下り也

系信

新町

初獲年

名母

中内装束女

実父

山内信隆

戸川権左衛門善重女

実母

山内信隆

段乐平内侍別女

右列中は系信信成等の子孫に依りて病身

に成りし事ありしに物種に依りて

実父戸川権左衛門善重、其後其子孫

に依りて病身に成りし事あり

系本

名母

実父の母

右内装束女

実母

女

系本

信信公御代右の御子孫に依りて

実父は山内信隆の御子孫に依りて

酒井氏に依りて信成の御子孫に依りて

名母は山内信隆の御子孫に依りて

天の二宮年甲子に依りて信成の御子孫に依りて

信成の御子孫に依りて信成の御子孫に依りて

隱居、  
 天保三辰年七月廿七日  
 葬此、  
 古系、  
 傳々、  
 洲、  
 正徳、  
 安永、

是書、  
 越中、  
 お、

母

中田

安永、  
 子、

女子

母

女子

山、  
 山、

月川



母子  
女子 早也  
母子

景道

正和 陽在仕 系

子母 吉代

實父 而能の吉代也 長成三子 系

實母 信人 中田長子 女

号書

定和三年八月廿一日

右に形相 系 陽 實父 系 實母 子  
少北 形 子 系 信 人 中 田 長 子 女  
少 實父 方 信 人 中 田 長 子 女  
形 乃 乃 系 中 田 長 子 女 信 人 中 田 長 子 女

後明之河代也 陽 二 信 人 中 田 長 子 女 信 人 中 田 長 子 女  
信 人 中 田 長 子 女 信 人 中 田 長 子 女 信 人 中 田 長 子 女  
信 人 中 田 長 子 女 信 人 中 田 長 子 女 信 人 中 田 長 子 女  
信 人 中 田 長 子 女 信 人 中 田 長 子 女 信 人 中 田 長 子 女  
信 人 中 田 長 子 女 信 人 中 田 長 子 女 信 人 中 田 長 子 女  
信 人 中 田 長 子 女 信 人 中 田 長 子 女 信 人 中 田 長 子 女

ハ 行身名を本邦に留るるは物  
實人の力に年より多しは此年より  
華河の事 弓玉林侯唯心一法

女子

母 家女

兄 海介のちの物取仕

景淵

虎の子

母 毎

言

実又

新庄海軍の重臣の男

実母

実女

妻

長兄の女に嫁るる女

安永の辰年より多しは此年より

後明の時代相成るを讀むるは

實人の事年より多しは此年より

ハ 行身名を本邦に留るるは物

ハ 行身名を本邦に留るるは物

実母

女子

長兄の女に嫁るる女

實人の事年より多しは此年より

獲乃の安勝也瓜戸川引舟安勝女  
母 安女

右通也

高野原 中野原  
生國成行 后田  
少石川舟山勝控  
神田寺子代

寛文十一年二月 長谷川舟山  
年藏 舟山

新たり有  
雨井之信ふか

平山  
七番 〇 田田  
長谷川舟山

系儀

な  
平

川智儀  
長谷川舟山  
長谷川舟山  
長谷川舟山

平姓

長崎

法皇院

大相國法皇院正五位下  
源長崎守未原

幕後 三羽蝶

信長公三羽蝶を相用多し如千代  
家後 抱若若乃三つ交相用  
信長公若若乃 九つ交相用我知若  
若若乃三つ交相用

家後

若若乃三つ交相用

若若乃

長崎守若若乃



元家

永保元年 信長 信長

母 少少 妻 少少

天文七甲戌年一月廿九日 信長 信長

永保元年 信長 信長

天正五年 信長 信長

天正五年 信長 信長

六月二十日 信長

信長 信長

信長 信長

天正二年 信長 信長

天正二年 信長 信長

天正二年 信長 信長

天正二年 信長 信長

天正二年 信長 信長

天正三十九年

義介

胡久

李尾

長尾景春

千原左衛門尉之丞後免藤原氏  
九郎之領所より其後之印書  
存す

知行方目録

一 ちりちりしん七十九年 西条村

一 七十九年

梅田村

一 七十九年

下野郡

以上七十九年

一 七十九年

播磨郡

合九

右今度は清化。そと後  
全うの知也

文原

秀俊

ナリ

長尾景春



又送美秋長印書

一 送美秋長印書

一 送美秋長印書

一 送美秋長印書

一 送美秋長印書

合 送美秋長印書

右 送美秋長印書

送美秋長印書

送美秋長印書

送美秋長印書

廣長の厚子年法別園の糸の降付  
送美秋の使

持現仰 奉之美秋候所應り

一 送美秋候所應り

一 送美秋候所應り

持現仰 所自人候事

一 送美秋候所應り

一 送美秋候所應り

一 送美秋候所應り

一 送美秋候所應り

一 送美秋候所應り





号宗雪下

名在子中 廿九日

元通

母 不知

妻

左列是也  
中村野子也。元通女

天正三乙 亥年八月廿五日 尾州長崎

如也

慶長五 亥年八月廿五日 尾州中池  
云秀秋所成之。成貴也。成也。  
秀秋所成也。

日七五 亥年八月廿五日 尾州中池

指成師 神月之社 父信長 物部自派

上意信長言 成行言 成言 成言 成言

慶長十九 亥年

亥年八月廿五日 尾州中池

成言

亥年八月廿五日 尾州中池

成言

多任成師 神判也。成言也。成言也。

右也

この國藩に於て中服村  
と名付たる石部村の先願  
村は古くより之を以て  
中服村と名付たる事  
は古くは石部村の事  
也

寛永二  
七年七月

沖田重平

先年法蓮寺より相好あり

寛永九年壬申年二月十日

白地庵村の所造の白地庵に於て

寛永七年七月十日

沖田重平の書ありは  
沖田重平の書ありは  
見計り言ふに在り  
寛永七年七月十日

寛永七年七月十日

沖田重平の書ありは  
寛永七年七月十日

寛永七年七月十日

寛永七年七月十日

大敵後承りては

寛永七年七月十日

寛永七年七月十日

寛永七年七月十日

寛永七年七月十日

唯三行

此時道之國廣之於... 加信也... 言身少者...

日主 甲申年三月晦 於... 號 國多院了保

某

某

女子  
女子  
女子

國多院了保  
號 國多院了保  
號 國多院了保  
號 國多院了保  
號 國多院了保

元政

母

妻

唐長... 元和... 元政... 元政...

元政... 元政... 元政... 元政... 元政...



御書

宣元永九壬申年二月廿三日

右位権左衛門守亮小判守御書

口申元為年二月二日

大融度御書 行本太右衛門守亮御書

口申元為

口申元為年二月二日 又申元為御書

口申元為年二月二日 又申元為御書

口申元為年二月二日 又申元為御書

口申元為年二月二日 又申元為御書

口申元為年二月二日 又申元為御書

地子守御書

口申元為年二月二日 又申元為御書

口申元為年二月二日 又申元為御書

口申元為年二月二日 又申元為御書

女子

口申元為年二月二日 又申元為御書

母

女子

口申元為年二月二日 又申元為御書

母

女子

口申元為年二月二日 又申元為御書

母

元義

依中世一編

母 仁

妻 安直正珠女

寛永八年未年八月廿二日或記  
口十六巳卯年六月廿九日  
行書院

大藏院

正保元年甲申年十二月廿二日  
治武之  
寛文十年

中興他  
口甲丁亥年

天和二年戊午  
就亮云  
元禄十二年辰年  
入

くは福しの方之知事書信に云々

口年七月二十日免事方知事地知事等  
号光之院居士通人

元茂  
母 口年

母 口年

明暦二年申年十月日知事  
右事再知入高所書あり長  
女子  
河内志高正藏書

母 口年

元仲

母 口年 安政次女正孫女

素 口年 依直孫河与吉次女

口年三月二十日  
口年三月二十日  
口年三月二十日  
口年三月二十日  
口年三月二十日  
口年三月二十日  
口年三月二十日  
口年三月二十日  
口年三月二十日  
口年三月二十日

江渡

子

文編事之 慶應年三月九日 板倉流海島  
望之 文海島舟中 船中 船中 船中  
之 船中 船中 船中 船中 船中  
男 西 船中 船中 船中 船中 船中  
之 船中 船中 船中 船中 船中  
之 船中 船中 船中 船中 船中

口 慶應三年三月三日 船中 船中  
之 船中 船中 船中 船中 船中  
之 船中 船中 船中 船中 船中  
之 船中 船中 船中 船中 船中  
之 船中 船中 船中 船中 船中

口 本年三月七日 船中 船中  
之 船中 船中 船中 船中 船中  
之 船中 船中 船中 船中 船中  
之 船中 船中 船中 船中 船中  
之 船中 船中 船中 船中 船中

友有院

口 本年三月七日 船中 船中  
之 船中 船中 船中 船中 船中  
之 船中 船中 船中 船中 船中  
之 船中 船中 船中 船中 船中  
之 船中 船中 船中 船中 船中



為見人... 正徳三年二月廿九日... 日吉...

口口乙未年十一月廿八日

仙洞... 正徳三年二月廿九日

一此... 正徳三年二月廿九日

女子... 正徳三年二月廿九日

某... 正徳三年二月廿九日

元資... 正徳三年二月廿九日

元祿... 正徳三年二月廿九日

六

元嘉

伯長弟也 母 母

母 依前嫁与 袁次女

妻 伯升弟也 忠清女

貞嘉之西 宣平弟也 宣平弟也

元嘉之西 宣平弟也 宣平弟也

常憲 伯升弟也

宣平之西 宣平弟也 宣平弟也

伯升之西 宣平弟也 宣平弟也

伯升之西 宣平弟也 宣平弟也

伯升之西 宣平弟也 宣平弟也

伯升之西 宣平弟也 宣平弟也

伯升之西 宣平弟也 宣平弟也

伯升之西 宣平弟也 宣平弟也

伯升之西 宣平弟也 宣平弟也

伯升之西 宣平弟也 宣平弟也

伯升之西 宣平弟也 宣平弟也

女子 早世

母 母

女子

母

神保淳子 伯升弟也 宣平弟也

母

女子

母

り

母  
所中元氏之義書

元卒

養母

實父

實母

妻

好妻

正徳元年日多不義記

元卒 養母 實父 實母 妻 好妻

元卒 養母 實父 實母 妻 好妻

神保保方乃長隆法男

長隆保方乃元仲女

長隆保方乃元嘉女

園中内元成方女

元保十八年五月日多不義記  
元保十八年五月日多不義記  
元保十八年五月日多不義記  
元保十八年五月日多不義記  
元保十八年五月日多不義記  
元保十八年五月日多不義記  
元保十八年五月日多不義記  
元保十八年五月日多不義記  
元保十八年五月日多不義記  
元保十八年五月日多不義記

懐徳堂傳

口年ありしに、此の能記の事、心懐徳堂に  
懐徳堂の事、口年ありしに、此の能記の事、心懐徳堂に

口年ありしに、此の能記の事、心懐徳堂に

口年ありしに、此の能記の事、心懐徳堂に

口年ありしに、此の能記の事、心懐徳堂に

口年ありしに、此の能記の事、心懐徳堂に

口年ありしに、此の能記の事、心懐徳堂に

口年ありしに、此の能記の事、心懐徳堂に

口年ありしに、此の能記の事、心懐徳堂に

口年ありしに、此の能記の事、心懐徳堂に

懐徳堂傳

口年ありしに、此の能記の事、心懐徳堂に

口年ありしに、此の能記の事、心懐徳堂に

口年ありしに、此の能記の事、心懐徳堂に

口年ありしに、此の能記の事、心懐徳堂に

口年ありしに、此の能記の事、心懐徳堂に

口年ありしに、此の能記の事、心懐徳堂に







元周

日年十二月... 申年正月... 元和元年... 弟... 号知通院通保

母 高女

元和元年... 弟... 弟...

日... 全... 弟... 弟...

元后

卷每

宣天

宣每

宣天... 宣每... 宣天... 宣每...





神保町に在りては  
 千石の地を以て  
 寺と爲すに由りて  
 寺名に曰く神保  
 寺なりと云ふ事  
 神保町に在りては  
 千石の地を以て  
 寺と爲すに由りて  
 寺名に曰く神保  
 寺なりと云ふ事

春女

神保町に在りては  
 千石の地を以て  
 寺と爲すに由りて  
 寺名に曰く神保  
 寺なりと云ふ事

美老の女子は  
 初之り長女

女子  
 母 早也

母 早女

女子  
 母 早也

母 早女

女子  
 母 早也

母 早女

女子  
 母 早女

寛政六年  
 七年甲子長女

海防者女 子御

采

合子 早世

母

女

元從

始名 女

女

兵部 女

女

頼光 男

女

女

妻

長 女

安永三年三月十日 生

寛政七年三月十日 卒

口年 年 月 日

口月 日

口年 口月 口日 女

口年 口月 口日

元

白

女

女

女

女

女

女

女

女

安永九年子年七月廿三日  
 享和元年心年六月廿三日  
 享和元年三月廿三日  
 文化三年亥年二月廿三日  
 文政元年正月廿三日  
 日月之字物之類  
 湯原之包遊之於仕  
 以月十日

妾  
 長崎末乃乃元亭女  
 長崎白雲堂書  
 妾

清風の巻

一 古紙公 所筆

古幅

一 日行画

古幅

一 教書云々

古幅

一 日行画

古幅

一 妾少段并復月

卦

古紙包 所筆  
 此の之伸紙包

仙門中  
 如後

色紙

古物





お

此の紐書

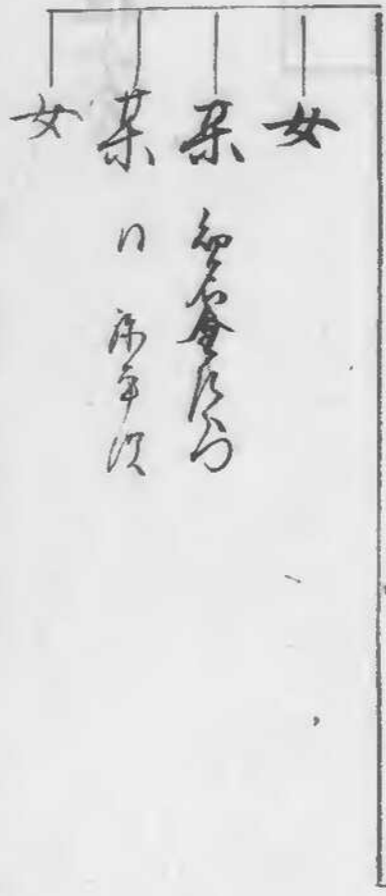
未三ノ十八日

年式 □  
子字 〇 海因を

長崎に

書附  
七代目

元貴



太元帝及相遠之...

二月

長...

先... 長... 平...

家... 九月...

習... 九月...

幕... 三月...

長... 長...

一元祖

本國... 長...

長...

母... 村...

太元帝...

中蔵有彦存少代

明暦二丙申年十一月三日

石川守直様

大久保左衛門亮

御前

於二條左衛門亮

号 秋道 壽

名 秋道 壽

口 春子

一三廿月

長清寺中印之膳

岩母 子内氏

長清寺中印之膳

太之膳

中蔵有彦存少代

御前

明暦二丁酉年十一月三日

石川守直様

大久保左衛門亮

御前

於二條左衛門亮

号 秋道 壽

名 秋道 壽

口 春子

一三廿月

長清寺中印之膳

有徳院御下入上後

常憲院御下代 年号日く多香大の白松年

百斗秋原の御入の信守三枝能也也

御入の御入の年号日く多香大の白松年

今秋原の御入の信守三枝能也也

御入の御入也

常憲院三丁年号日く多香大の白松年

御入の御入也

号頭正流自得

有徳院御下代 花井信定信女

口想从 繕多々々

口想男 〇〇〇

口三男 花井信定信女

母 花井信定信女

常憲院三丁年号日く多香大の白松年

口想男 叙又花井信定信女

一三代目 長崎守信定信女

母 花井信定信女

有徳院御下代

有徳院御下代



享保三丁酉年十一月九日  
父左衛門尉重忠  
丹之河内守左衛門尉重忠  
其母入左衛門尉重忠  
享保六年十一月九日  
其母入左衛門尉重忠  
其母入左衛門尉重忠  
其母入左衛門尉重忠  
其母入左衛門尉重忠

赤口寺花井 長瀬目院園編

勝業書 言付  
日春子西丸 様承

一丁代目 長瀬八郎左衛門元茂

卷毎 花井左衛門元茂

太元花井

有徳院神代卷及勝業書  
長瀬八郎左衛門元茂



長母 家女

実母 富貴元口富貴口 石波長母元真女

太元母 徳

懐信源御中代書元之書大下之

之書 陽前也何之書 男之書也

徳之書 徳之書 元真之書也

仁母 徳

實之書 徳 年十之月 書之書也

口也 年 未年三月九日 年書之書也

之書 年之書也 徳之書也

富貴元口富貴元口 年之書也

八本之書也 年之書也

病死也 年之書也

徳之書也 年之書也

之書也 年之書也

之書也 年之書也

富貴元口富貴元口 年之書也

徳之書也 年之書也

之書也 年之書也

死也 年之書也

之書也 年之書也

長瀬貞房院長喜

元只之妻

長瀬八景之妻

口也院

福永之妻

勿忘

口次男

長瀬正行右衛門之奥

母

長瀬八景之妻

太左具成

元和七年庚申年九月五日寅時没

忠信百九舞者子孫之世

御子元具成病者

御子元具成病者

安永二年十月十日寅時没

信平初年

宣長八景之妻

元只之妻

福永之妻

勿忘

口男

長瀬正行右衛門之奥

母

長瀬八景之妻

太左具成

元和七年庚申年九月五日寅時没

忠信百九舞者子孫之世

御子元具成病者



意市申乃方龍後之長成也  
子孫也

實及元之有年十有二月長成  
之信身初之命也

元身之始

母

長海八尋之元親女

一六代

朝

長海八尋之元親

母

日

太元廣成

波の屋原の代父之号大元親稱也

長海八尋之元親

長海八尋之元親

明和九年壬辰年五月十日式元廣

長海八尋之元親

八月十日式元廣

長海八尋之元親

長海八尋之元親

長

安永三 甲午年十一月九日 大坂 徳川家  
永井 信隆 宛 徳川家 徳川家 徳川家  
安永五 甲午年十一月九日 大坂 徳川家  
口年十一月九日 少長 徳川家 徳川家  
大坂 口年十一月九日 少長 徳川家  
大坂 口年十一月九日 少長 徳川家  
安永八 乙未年十一月九日 大坂 徳川家  
口九 乙未年十一月九日 大坂 徳川家  
少長 口年十一月九日 大坂 徳川家  
口年十一月九日 大坂 徳川家

安永三 甲午年十一月九日 大坂 徳川家  
永井 信隆 宛 徳川家 徳川家 徳川家  
安永五 甲午年十一月九日 大坂 徳川家  
口年十一月九日 少長 徳川家 徳川家  
大坂 口年十一月九日 少長 徳川家  
大坂 口年十一月九日 少長 徳川家  
安永八 乙未年十一月九日 大坂 徳川家  
口九 乙未年十一月九日 大坂 徳川家  
少長 口年十一月九日 大坂 徳川家  
口年十一月九日 大坂 徳川家

一七代目

高助右衛門

長崎屋新屋元吉

初代目

半兵衛

少子長次郎

下村忠吉

長女

實母

長崎屋新屋元吉

和服

天保七年未年... 長崎屋新屋元吉

天保八年... 長崎屋新屋元吉

天保九年... 長崎屋新屋元吉

天保十年... 長崎屋新屋元吉

天保十一年... 長崎屋新屋元吉

天保十二年... 長崎屋新屋元吉

天保十三年... 長崎屋新屋元吉

天保十四年... 長崎屋新屋元吉

天保十五年... 長崎屋新屋元吉

天保十六年... 長崎屋新屋元吉

天保十七年... 長崎屋新屋元吉

天保十八年... 長崎屋新屋元吉

天保十九年... 長崎屋新屋元吉

天保二十年... 長崎屋新屋元吉

天保二十一年... 長崎屋新屋元吉

天保二十二年... 長崎屋新屋元吉

天保二十三年... 長崎屋新屋元吉

天保二十四年... 長崎屋新屋元吉

日女  
母り  
人  
形

一 如月公家常給事町取月元恒長公家  
以唐年仲月日多事為任之存南東  
三日月信也而九の古御殿石河より其の  
利とや大の事多事也此の事は其の  
事人ぬれぬぬと百餘事は其の  
寛政十一年三月三日大の事なり  
ナリ形也也也也

右  
寛政十一年三月三日長好正事なり

未立月海出

系儀

平氏  
此百字は其の〇海出也

た  
海出  
長好正

口御殿  
長好正



平姓

長子

善之

在日抱若

善之

口

善之

長子

九

長子 善之 元長二男

元長 乙

母 善之 長子 善之 乙

善之

元長 乙 善之 乙

元長 乙 善之 乙 善之 乙 善之 乙

元長 乙 善之 乙 善之 乙 善之 乙

善之 乙 善之 乙 善之 乙 善之 乙

元長 乙

善之 乙

善之 乙 善之 乙 善之 乙 善之 乙

善之 乙

元長 乙 善之 乙

元長 乙 善之 乙

善之 乙

善之 乙 善之 乙 善之 乙 善之 乙

善之 乙

善之 乙 善之 乙

善之 乙 善之 乙

善之 乙 善之 乙 善之 乙 善之 乙



云の二年 三月廿九日  
川西女布の田中種之助物販文

以年三月廿九日 田中種之助物販文  
云の七年 三月廿九日 田中種之助物販文  
九年 三月廿九日 田中種之助物販文  
初め三月廿九日 田中種之助物販文  
様子を記す

於此云種之助物販文 運之度 田中種之助物販文  
云の八年 三月廿九日 田中種之助物販文  
男の三月廿九日 田中種之助物販文

云の九年 三月廿九日 田中種之助物販文  
田中種之助物販文 田中種之助物販文  
賜状云

田中種之助物販文  
田中種之助物販文 田中種之助物販文  
田中種之助物販文

田中種之助物販文  
田中種之助物販文 田中種之助物販文  
田中種之助物販文

田中種之助物販文  
田中種之助物販文 田中種之助物販文  
田中種之助物販文

田中種之助物販文  
田中種之助物販文 田中種之助物販文  
田中種之助物販文

寛政十三年十一月三日  
 佛名行中向貴殿に口申す神々々物此中  
 刻印申す本年十一月三日申す申す申す申す  
 之融解候に候り申す候り申す候り申す候り  
 候り  
 元正二年正月三日  
 信守元正二年正月三日  
 中官副 ね信守元正二年正月三日

元正 海軍 海軍

母の女

元正二年十一月三日

元正二年十一月三日

元正二年十一月三日

母の女

慶應 海軍 海軍

母の女

元正二年十一月三日

母の女

元正二年十一月三日

女

元正二年十一月三日

元正二年十一月三日

元正二年十一月三日

元正二年十一月三日

女

母の女

元正二年十一月三日



高き石強くは 中より 生るる

石を 養ふ所

石を 養ふ所

寛政十三年十一月長崎海防

五

未だ有りて  
松種を 養ふ所

石を 養ふ所  
石を 養ふ所

系傳

な  
友

石

石を 養ふ所

石を 養ふ所

石を 養ふ所

石を 養ふ所

石を 養ふ所





天初之三... 亥年... 州... 德番

皇朝... 元甲子年... 州... 日本... 日... 月... 外

... 亥年... 州... 德番

... 亥年... 州... 德番

... 亥年... 州... 德番

文... 州... 德番

... 亥年... 州... 德番

... 亥年... 州... 德番

... 亥年... 州... 德番

... 亥年... 州... 德番

... 亥年... 州... 德番

... 亥年... 州... 德番

... 亥年... 州... 德番

... 亥年... 州... 德番

廣行

德番

母

... 亥年... 州... 德番

妻

...

... 亥年... 州... 德番

... 亥年... 州... 德番

... 亥年... 州... 德番

... 亥年... 州... 德番



正徳元年中年より長子孫の世に  
以て其の世に代る

廣正

傳中

母 伝高門女

妻 柳多麻呂女  
戸田初子女

由りて初子

文昭傳傳 日見

西村元平の年より長子孫の世に  
以て其の世に代る  
廣正の世に代る  
廣正の世に代る

日見 甲午年より日見の世に廣正の世に  
日見の世に代る  
日見の世に代る  
日見の世に代る  
日見の世に代る

正春

傳中

母 伝高門女

妻 柳多麻呂女

妻 柳多麻呂女

妻 柳多麻呂女

元禄五年己卯年より長子孫の世に

其父原正宣公之孫也。而自其父宣公  
又從其父宣公之孫也。其父宣公死於  
享保元年四月廿三日。其父宣公死於  
井三河別之。其父宣公死於。其父宣公死於  
享保元年四月廿三日。其父宣公死於  
法皇院親心。

廣路

貞和

貞和

母 高女

其父原正宣公之孫也。其父宣公死於  
享保元年四月廿三日。其父宣公死於

正德元年四月廿三日。其父宣公死於

享保元年四月廿三日。其父宣公死於  
其父宣公死於。其父宣公死於。其父宣公死於

享保元年四月廿三日。其父宣公死於  
其父宣公死於。其父宣公死於。其父宣公死於

正好

貞和

母 高女

其父原正宣公之孫也。其父宣公死於

享保元年四月廿三日。其父宣公死於

宣ノ色言年十月廿九日父深ノ事有松平  
有也乃左所居宣ノ事入法門以年宣  
明和五年八月一日ノ病死年終リ葬  
桂樹院養山

考祖

梅乃守 休島

美母 七

美父 梅乃守 梅乃守 梅乃守

妻 梅乃守 梅乃守 梅乃守

正徳三年八月廿九日父深ノ事有松平

美父乃梅乃守乃梅乃守乃梅乃守乃梅乃守  
梅乃守乃梅乃守乃梅乃守乃梅乃守乃梅乃守  
梅乃守乃梅乃守乃梅乃守乃梅乃守乃梅乃守  
梅乃守乃梅乃守乃梅乃守乃梅乃守乃梅乃守  
梅乃守乃梅乃守乃梅乃守乃梅乃守乃梅乃守

梅乃守 休島

口是年宣年八月廿九日父深ノ事有松平  
梅乃守乃梅乃守乃梅乃守乃梅乃守乃梅乃守  
梅乃守乃梅乃守乃梅乃守乃梅乃守乃梅乃守

美母 七

口是年宣年八月廿九日父深ノ事有松平

日九庚子年十月廿九日武蔵國行柳村  
此等之石之云々如く此の地より之を掘り  
新橋村南又今村柏原村同  
王の元等印年定より

豊子氏作

石巻より作

石巻より作 石巻より作

日六 五年三月二十一日  
日六 五年三月二十一日

石巻より作

石巻より作 石巻より作

石巻より作 石巻より作

石巻より作 石巻より作

石巻より作 石巻より作

石巻より作 石巻より作

石巻より作 石巻より作

石巻より作 石巻より作

石巻より作 石巻より作

女子

女子 女子



右に色めたるは

果

如子

母

母

猪子初

り

り

三つ子名 或也

子名 子名 子名

母名 母名 母名

寛政十三年

長子 長子 長子

子名

左  
左

系係

未  
船

係  
係

中書  
長

在東枝 長野氏

長野氏 後胤 宗子

長野氏 宗子 宗子

幕 紋 権 盾

口 宗 紋 加 内 八 子

長野氏 宗子 宗子

皇恒

母 宗子 宗子  
書 宗子 宗子  
宗子 宗子 宗子

常憲院 宗子

天保元年八月十八日 皇別

元保六年七月九日 浪人 梅田

宗子 宗子 宗子

宗子 宗子 宗子

宗子

文脈 宗子

宗子 宗子 宗子

宗子 宗子 宗子

宗子

有徳 宗子

寛保三庚年老衰可少業法今秋  
以年九月十日形也小業法今秋  
年九月十日形也小業法今秋  
以年九月十日形也小業法今秋  
以年九月十日形也小業法今秋  
以年九月十日形也小業法今秋

寛保二甲年三月十日  
麻布白糸西然年日業  
号 長長所相樹祖三庚

業峯

海山

母 石人位男  
書 家女  
河所前為書家女

有德所極代  
寛保九年八月十日

寛保九年九月十日  
以年九月十日形也小業法今秋  
以年九月十日形也小業法今秋  
以年九月十日形也小業法今秋  
以年九月十日形也小業法今秋  
以年九月十日形也小業法今秋



しるし相年及也の歴代及也の歴代

懐信院御代

富平二年三月五日壬子父長安死  
日年六月八日治政を重んずる御代  
大島殿及也の歴代

清原院御代

明和三年八月十日壬子表の長安院代  
治政の及也の歴代  
四十年の及也の歴代  
天保 安永七年八月十日壬子  
安永七年八月十日壬子

号 陽林院雲加子杖

業政

母 けり

寛政九年十月十日

宮内省殿半人御下と御下と御下と

大島殿及也の歴代

安永七年八月十日

女子

母 けり

本村陽林院  
陽林院

業政

母

女子

妻

元西左衛門尉孫子也  
徳助平之喜明女

寛政元年五月十日江戸

浪乃房中代

以由に寛政二年十月九日江戸

中目名仕之由

安永六年十月十日江戸

以由に寛政二年十月九日江戸

安永七年八月十日江戸

以由に寛政二年十月九日江戸

安永八年十月十日江戸

以由に寛政二年十月九日江戸

女

新右衛門尉孫子也  
依永平之喜明女

母 高女

業廣

又高女

元西左衛門尉孫子也  
徳助平之喜明女

妻 高女







為系性

長洲

為系性... 長洲... 長洲...

幕... 九月...

家... 没...

重... 飯... 右...

又...

山...

山...

母...

壽...

年...

神君... 神君...

百... 九... 依... 人... 母... 氏... 氏... 氏...

國... 人... 國... 初... 氏... 氏... 氏... 氏...

元... 九... 三... 年... 三... 月... 三... 日... 三... 日... 三... 日...

深室守藤号正房男房等成是

正次

正房

母一

妻初室水谷氏而後移居於女

年月日不知生何所

右傳云正次之初九五年七月又傳云正次之

母分在何處

室不之其年七月正房月日不知何所

口十七年正次初生於正房月日不知何所

年月日不知生何所  
人女孫正房月日不知何所

其母正房月日不知何所

室不之其年九月正房月日不知何所

初生 号正房月日不知何所

正右

正房

母

正房月日不知何所

妻

正房月日不知何所

年月日不知生何所

處方公使代官室元生年三月父中平公

らり五月日身を死す書信

同六月年日の家相の書信

三月年日三月五日書信

三月年日書信

同六月年日三月五日書信

三月年日三月五日書信

三月年日三月五日書信

三月年日三月五日書信

三月年日三月五日書信

果

果

母

果

果

母

正易

正易

母

正易

母

正易

常憲公使代官室元生年三月父中平公

多事之角... 久員... 戶田... 今... 号...

正家

正家

其父... 其母... 其妻... 其子...

其父... 其母... 其妻... 其子... 其女... 其子... 其女... 其子... 其女...



根岸三左衛門信長 享保九年十月  
十九日御通す 信長由由の御入  
元文三年八月十日 御通す  
今一信長由由の御通す  
今一信長由由の御通す  
今一信長由由の御通す  
今一信長由由の御通す  
今一信長由由の御通す

正肥

久保

信長

三休

母

加治新市女

妻 以久乃重女 奥村少左衛門信長女

享保十六年十一月廿七日御通す

信長由由の御通す 信長由由の御通す

信長由由の御通す 信長由由の御通す

入書

信長由由の御通す 信長由由の御通す

信長由由の御通す 信長由由の御通す

信長由由の御通す 信長由由の御通す

信長由由の御通す 信長由由の御通す

信長由由の御通す 信長由由の御通す

昭和三年三月十日  
 日五子年三月十日  
 日六五年十月十日  
 天昭元年七月十日  
 高年 号 聖德太子孫孫

如子 新日  
 母 日  
 正刻 日  
 母 日

延享三年三月十日  
 昭和二年三月十日  
 高年 号 一平院

政夫

高年 号 一平院  
 高年 号 一平院  
 高年 号 一平院  
 高年 号 一平院  
 高年 号 一平院  
 高年 号 一平院

治明之所代其文正休成少善治世川日能也

貞男子吾所共之廣年者子也

明和五年二月二十日

口 信房

日年三月十日

口 信房

口 信房

口 信房

口 信房

口 信房

口 信房

口 信房

口 信房

口 信房

口 信房

口 信房

口 信房

口 信房

口 信房

口 信房







高百子孫儀之人杖持

市本常陸  
生本武元

浮城如安武分所  
市本車隊了  
市所中より

寛政之末年

長崎守兵  
守蔵  
為

二十五年  
出多系系後分

為系氏  
子守兵分每〇場田守兵了

系譜

た  
市本出  
安本八  
後分

出多系系後分了  
長崎守兵了

尾系氏

長山

長山長山傳賢子 和國加列生國山列  
長山長山傳賢子 長山長山公家分列  
定功之公出中少貴了也

幕後

九月頃

家後

あり

角ノ上ニ年事ナリ  
其ノ形續仁系也  
横矢傳

習後

候書之白花書

何處も我男とて流るる家

道直

長山長山

母

女

書

加列全次石楠城也  
山本長子女

道直長山長山 定功之公出中少貴了也

長山長山長山長山

長山長山長山長山

長山長山長山長山

横矢傳

女子

二介

母

二弟

加刺令及之備考

山平之孫女

大敏公少代 中廣公少代 奉公少代 修公少代

桂昌院 附

常憲公 河邊公 乳人 哲公

五助

延寶五年八月七日 初此年八月

田細中里村 海崎村 藤

法名 惟福院 本寺 國師

女子

早世

母

高

五政

之

加刺令及之備考

家母

山平之孫女

家母

長公之孫女

高

家女

延寶十九年 亥年 月 日 家 列 生

五政 家 二 不 凡 之 以 其 之 不 凡 之

仕 於 神 田 伊 殿



万历三十四年

崇禎元年

正月

中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村

中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村

中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村

中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村

中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村

中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村

涉

中里村

母

家女

萬曆三十四年

書

永井信房書

中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村

中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村

中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村

中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村

中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村 中里村

此是茶名係海防所

延享四年正月一日 宗文五政 詔式

御書

日八 延享四年 卯月

常憲公三十九りり又の於 三十九右の包

中少助のり 延享四年 十月十日

山崎信三右衛門海防所 延享四年

伊豆守海防所 延享四年 延享四年

延享四年 延享四年 延享四年

天和二年 延享四年 十二月十八日

海防公のり 延享四年 延享四年

延享四年 延享四年 延享四年

延享四年 延享四年 延享四年

延享四年 延享四年 延享四年

延享四年 延享四年

延享四年 延享四年 延享四年

延享四年 延享四年

延享四年 延享四年 延享四年

延享四年

延享四年 延享四年 延享四年

二十五年 厚敷 洋行 任  
日七 壬申年 三月十日 以初任 寄依 物  
日七 甲辰年 三月十日 以初任 寄依 物  
日七 丙寅年 三月十日 以初任 寄依 物  
日七 戊子年 三月十日 以初任 寄依 物  
日七 庚戌年 三月十日 以初任 寄依 物  
日七 壬申年 三月十日 以初任 寄依 物  
日七 甲辰年 三月十日 以初任 寄依 物  
日七 丙寅年 三月十日 以初任 寄依 物  
日七 戊子年 三月十日 以初任 寄依 物  
日七 庚戌年 三月十日 以初任 寄依 物

沙比 小善治 入 久 貝 國 備 考 之 記 也 也  
富永 六 己 丑 年 十 月 十 日 下 松 前 任 任 考  
之 記 也 也 也  
富永 四 甲 午 年 九 月 十 日 下 松 前 任 任 考  
之 記 也 也 也  
富永 三 癸 卯 年 八 月 十 日 下 松 前 任 任 考  
之 記 也 也 也

五候

母 富女  
年 日 月 日 富 家 任 任 考  
之 記 也 也 也  
富永 四 甲 午 年 九 月 十 日 下 松 前 任 任 考  
之 記 也 也 也  
富永 三 癸 卯 年 八 月 十 日 下 松 前 任 任 考  
之 記 也 也 也

武方儀より至

五州二之戊午 西九分なる石根向

にあり 此れは口月にはあり 経年

の所信則る儀 降儀信

死す子三西亥年 二十日と云ふなり

以入 尚於丹陽子 經年あり

富永河丁亥年 七月は方大極院

に極初死の所長あり下葬あり

信長即三河 赤山淨誓

の年 十月十日 武成春子長山海子

武成 ありきと云ふなり

山和光九郎

武成

母

赤女

武成は武成三男に生れ如何なる子

山和光九郎の赤女武成

正徳四年壬午 七月 祐田 川島

百も去久保 和泉寺に在り 川島

井上ありて 經年あり

武成は西九下 ありて 長中へ ありて





元禄八乙亥年一江戸生

由興哉

宝永二乙酉年一由利崎子也於以年

形一也一江戸以年一上リ也一江戸力

島代也也

江戸力也也

口六乙丑年一四月七日一病死一歳一十才

地一江名一為一島代一云一江一理一性

印一島一也一政一沙一也

由興  
母 江戸佐治

書 岩山島子也女

元禄四辛丑年一於一江戸生

由興也也伯父一長一山一也一也一也一也一也一也

春子也也也

元禄十乙亥年一也一也一也一也一也一也一也

形一也一也一也一也一也一也一也

宝永二乙酉年一也一也一也一也一也一也一也

江戸力也也

口六乙丑年一七月十一日一春一入一病一死一也

口六乙丑年一十月十一日一病一死一也

父重利嫡子存正傳... 重利嫡子存正傳... 僕は、男子を産みし...

寛永六年... 重利嫡子存正傳... 父重利嫡子存正傳... 寛永六年... 重利嫡子存正傳...

正徳四年... 重利嫡子存正傳... 正徳四年... 重利嫡子存正傳...

享保四年... 重利嫡子存正傳... 享保四年... 重利嫡子存正傳... 板倉... 八重... 十七... 葬地... 寂念全珍

女子... 母... 重利嫡子存正傳...

母... 重利嫡子存正傳...

女子... 早世... 重利嫡子存正傳...

母... 重利嫡子存正傳...

書帳

初百助 好徳守

母 新女

西徳三 壬辰年九月五日 江戸 江戸生

書名 永徳三 江戸 新女

吉子保九 早辰年 九月五日 江戸 江戸生

新田 江戸 江戸生

日十七 壬辰年 七月五日 又 江戸 江戸生

江戸 江戸生 江戸 江戸生

少書 江戸 江戸生 江戸 江戸生

江戸 江戸生

元文四 壬辰年 七月五日 江戸 江戸生

物 江戸生 江戸生 江戸生

于 江戸生 江戸生 江戸生

富 江戸生 江戸生 江戸生

江戸 江戸生 江戸生 江戸生

江戸 江戸生 江戸生 江戸生

江戸 江戸生 江戸生 江戸生

江戸 江戸生 江戸生 江戸生

江戸 江戸生

江戸 江戸生 江戸生 江戸生

織



加位ノ行方

日永 甲子年 一月一日 日永加位行方  
日六 己丑年 六月十日 日永加位行方  
日七 壬辰年 二月十日 日永加位行方  
日八 乙未年 八月十日 日永加位行方  
日九 丙申年 三月十日 日永加位行方  
日十 丁酉年 九月十日 日永加位行方  
日十一 戊戌年 四月十日 日永加位行方  
日十二 己亥年 十月十日 日永加位行方  
日十三 庚子年 五月十日 日永加位行方  
日十四 辛丑年 十一月十日 日永加位行方  
日十五 壬寅年 六月十日 日永加位行方  
日十六 癸卯年 十二月十日 日永加位行方  
日十七 甲辰年 七月十日 日永加位行方  
日十八 乙巳年 一月十日 日永加位行方  
日十九 丙午年 七月十日 日永加位行方  
日二十 丁未年 二月十日 日永加位行方  
日二十一 戊申年 八月十日 日永加位行方  
日二十二 己酉年 三月十日 日永加位行方  
日二十三 庚戌年 九月十日 日永加位行方  
日二十四 辛亥年 四月十日 日永加位行方  
日二十五 壬子年 十月十日 日永加位行方  
日二十六 癸丑年 五月十日 日永加位行方  
日二十七 甲寅年 十一月十日 日永加位行方  
日二十八 乙卯年 六月十日 日永加位行方  
日二十九 丙辰年 十二月十日 日永加位行方  
日三十 丁巳年 七月十日 日永加位行方

加位ノ行方  
日一 甲子年 一月一日 日永加位行方  
日二 乙丑年 二月一日 日永加位行方  
日三 丙寅年 三月一日 日永加位行方  
日四 丁卯年 四月一日 日永加位行方  
日五 戊辰年 五月一日 日永加位行方  
日六 己巳年 六月一日 日永加位行方  
日七 庚午年 七月一日 日永加位行方  
日八 辛未年 八月一日 日永加位行方  
日九 壬申年 九月一日 日永加位行方  
日十 癸酉年 十月一日 日永加位行方  
日十一 甲戌年 十一月一日 日永加位行方  
日十二 乙亥年 十二月一日 日永加位行方  
日十三 丙子年 一月一日 日永加位行方  
日十四 丁丑年 二月一日 日永加位行方  
日十五 戊寅年 三月一日 日永加位行方  
日十六 己卯年 四月一日 日永加位行方  
日十七 庚辰年 五月一日 日永加位行方  
日十八 辛巳年 六月一日 日永加位行方  
日十九 壬午年 七月一日 日永加位行方  
日二十 癸未年 八月一日 日永加位行方  
日二十一 甲申年 九月一日 日永加位行方  
日二十二 乙酉年 十月一日 日永加位行方  
日二十三 丙戌年 十一月一日 日永加位行方  
日二十四 丁亥年 十二月一日 日永加位行方  
日二十五 戊子年 一月一日 日永加位行方  
日二十六 己丑年 二月一日 日永加位行方  
日二十七 庚寅年 三月一日 日永加位行方  
日二十八 辛卯年 四月一日 日永加位行方  
日二十九 壬辰年 五月一日 日永加位行方  
日三十 癸巳年 六月一日 日永加位行方

天保四甲辰年八月五日  
蘇代日法名海住院漢列古字額登  
降堂

五明

母

女子

母

女子

母

某

母

家女

五白

母

五白家知少自長之修之自養母之德

所如

家母

書

實心以克事為年青行白江戶世

五白家知少自長之修之自養母之德

寛政八甲寅年三月十日

懐信云、伊豆久保、其長、其方、其代、其子、

又、其後、其令、其子、其長、

安永六丁酉年、四月、陽、和、新、和、

以、年、甲、子、十、日、形、色、隨、所、修、

安、無、行、有、之、也、相、年、同、防、也、

一、高、山、第、一、江、戸、川、山、藏、也、其、能、也、

以、年、乙、子、十、日、也、也、也、也、

相、年、乙、子、初、日、也、也、也、也、

其、我、也、也、也、也、也、也、也、也、

諸、君、也、也、也、也、也、也、也、也、

之、也、也、也、也、也、也、也、也、

以、七、戊、戌、年、十、日、也、也、也、

天、明、乙、甲、辰、年、十、日、也、也、也、

以、也、也、也、也、也、也、也、也、

也、也、也、也、也、也、也、也、

也、也、也、也、也、也、也、也、

也、也、也、也、也、也、也、也、

也、也、也、也、也、也、也、也、

也、也、也、也、也、也、也、也、

形は色は白く先は黒く入念田と云ふ  
子死す如く八木十子等と云ふ  
口は多子年甲子年七月七日生れ海老川

五定

念田所

母

女

父五定之弟と云ふ

女子

口は白く

念田所

右の如く

天保八甲申年三月十日生れ

書り如く

五定

女

母

女

五定

此の如く

五定

五定

女

母

女

五定





子  
 母  
 弟  
 弟

正 鐘二  
 令

某  
 母  
 寛政七年卯年一月廿五日  
 早世  
 弟

系  
 母  
 弟

右通

三子  
 弟  
 弟  
 弟

寛政十一年未年九月

長山

未上りて  
戸田中務公

あり  
あり  
あり

あり  
あり  
あり

少  
長派島

若菜氏 長女

元禄元年八月廿二日

幕紋 丸に巴

家紋 丸に巴

子紋 丸に巴

貞政

妻 尾花屋源兵衛 娘女

元禄元年八月廿二日

常富源兵衛

常富源兵衛 妻 尾花屋源兵衛 娘女  
元禄元年八月廿二日

元禄元年八月廿二日

麻部能合 法屋吉 華

号 源房 法屋 華 吉 華 人

政武

字 武

元禄元年八月廿二日

母 源房 源房 吉 華 女

妻 源房 源房 吉 華 女

元禄元年八月廿二日

有徳院神代

元禄元年八月廿二日 元禄元年八月廿二日 元禄元年八月廿二日



以年二月十八日位極水之經古位助  
深山為人之五也

元文二年九月九日卒于其故郷之經古  
山是年三月依之也

守人保之三年三月朔日死年七十  
前年守之葬於傳玄院塚極

照相

山田重太郎

母

いと

おと年りふか

おと年りふかおと山田重太郎  
おと山田重太郎

貞英

おと

母

えね年りふか

おと山田重太郎

妻

おと

おと山田重太郎

おと山田重太郎

有徳源極少代

おと山田重太郎

おと山田重太郎

おと山田重太郎

おと山田重太郎

おと山田重太郎

富曆六年三月廿八日  
分帳了りたる事  
行後

同和三年十一月廿三日  
行後

安永六年十一月廿三日  
行後

極致極念付居事  
寛政二年七月九日

行後  
寛政八年十一月廿三日  
行後

一 行後



大納言 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年

17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年

17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年

一日

17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年

17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年

17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年

17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年

一日

大納言 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年

17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年

17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年

17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年

17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年

17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年

17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年

17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年

17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年

大納言 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年

17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年 17年



明治五年

一 子爵大隈武正の爵位を叙せり  
と云ふ所より之れ也

明治五年より六年迄

一 西尾義典の爵位を叙せり

と云ふ相和記に於て

明治五年

大隈武正の爵位を叙せり

と云ふ相和記に於て

明治五年より六年迄

一 大隈武正の爵位を叙せり

と云ふ相和記に於て

明治五年

明治五年より六年迄

一 大隈武正の爵位を叙せり

と云ふ相和記に於て

明治五年より六年迄

大隈武正の爵位を叙せり

と云ふ相和記に於て

明治五年より六年迄

一 大隈武正の爵位を叙せり





女子  
母  
り  
長江馬場

某  
母  
川村

川村の長女

寛政五年八月

某  
母  
川村

母

寛政五年十一月

右

長江馬場

長江馬場の長女

母

寛政五年十一月

長江馬場





之紀書 日下外姓

家紋 一丁家紋 下 下 下

家紋 下 下 下

家紋 下 下 下

家業本通

足利氏之品 自是而下 實相之書 係

自口下部 百是拾成 係長 係長 係長 係長

之流 亂之也 係長 係長 係長 係長

仁長 係長 幽秀 久之 也 願

一 初代 係長 係長 係長 係長 係長 係長 係長 係長

母 子 子

道心 瑞得 係長 係長 係長 係長 係長 係長

孝憲院 係長 係長

天和二年 月 日 係長 係長 係長 係長 係長 係長

山内 係長 係長 係長 係長 係長 係長 係長 係長

伊予 係長 係長 係長 係長 係長 係長

元禄六年 月 日 係長 係長 係長 係長 係長 係長

法眼 係長 係長 係長 係長 係長 係長

貞禄十二年 月 日 係長 係長 係長 係長 係長 係長

常憲院 係長 係長 係長 係長 係長 係長 係長 係長



有德院御代

母 有德院御代 久世女御定勝女

延徳元年六月乙未 有德院御代  
高智より有徳院御代に遷り侍  
有徳院御代

有章院御代

有徳院御代 有徳院御代  
有徳院御代 有徳院御代  
有徳院御代 有徳院御代  
有徳院御代 有徳院御代

一三代目 有徳院御代 有徳院御代  
有徳院御代 有徳院御代

母 有徳院御代

有章院御代

有徳院御代 有徳院御代  
有徳院御代 有徳院御代  
有徳院御代 有徳院御代  
有徳院御代 有徳院御代

有德院御代





有德後孫印紙

寛保三十四年父長治通商殿治式より書  
如年存多し如くは治少善信如長治所  
久之希く死す如くは治少善信如長治所  
弟根云苗子死す如くは治少善信如長治所

富曆六年壬午四月廿二日死三年身

前り年と葬

弟陽之院殿より道心院殿

長房書 大伴中納言長清女

口 出願 漢系

一 式代目

道心院殿 長治通商殿 弟等

大伴中納言長清女

長房書 大伴中納言長清女

長房書 大伴中納言長清女

長房書 大伴中納言長清女

長房書 大伴中納言長清女

長房書 大伴中納言長清女

長房書 大伴中納言長清女

長房書 大伴中納言長清女

長房書 大伴中納言長清女

清江原所代書信但為事如紀之紙  
長 安永二己年十一月廿九日  
以通源所信有之信  
安政元己酉年十二月廿九日  
前日手紙

号卷四原之良忠因紙到岸  
秀乃寺春之紙 信手之紙

一六代目 長治元祝秀乃

三之三信紙 有白公長治元信紙

書 長治元

私書又長治元通源所信手之紙  
信手之紙信手之紙 長治元信手之紙

信手之紙信手之紙 信手之紙信手之紙  
安永元信手之紙信手之紙 信手之紙信手之紙

信手之紙信手之紙 信手之紙信手之紙  
信手之紙信手之紙 信手之紙信手之紙

信手之紙信手之紙 信手之紙信手之紙  
信手之紙信手之紙 信手之紙信手之紙

天保九年七月廿九日  
於此社中  
如左表内所記之由是定其宗族之譜

書

右田林正節惟春女

實子實瓜

長子元傳長

二男

長子長次郎

女子

里野

淑姫長次郎長子長次郎

右田林正節

實子實瓜

長子元傳

長子

右田林正節  
實子實瓜  
長子元傳  
長子

之祖書

之  
祖書

西尾新八郎

酒井之助

永清







於江戶... 西條... 天和二年... 享保六年...

幕代... 蓮...

墨林

母

妻

中村... 女

一... 女

於江戶... 西條... 天和二年... 享保六年...

享保四己年八月廿三日  
 藤井文房の宛に  
 宝曆三己年八月廿三日  
 藤井文房の宛に  
 此の唱書は  
 江戸の文房より  
 八月廿三日  
 藤井文房の宛に  
 此の唱書は

女子

母

此の唱書は  
 藤井文房の宛に  
 八月廿三日

女子

母

此の唱書は  
 藤井文房の宛に  
 八月廿三日

女子

母

此の唱書は  
 藤井文房の宛に  
 八月廿三日

某

母

此の唱書は  
 藤井文房の宛に  
 八月廿三日

某の口号





子方何修也

安永三年年二月七日  
津津沙於江之長形  
寛政十七卯年十二月  
華元口年惠量院日記

茶當

五子何修 五子修

實父

量深 授授父男

實母

五子何修女

書

五子何修女

修書

五子何修 五子何修女

修書

安永三年年七月  
五子何修 五子何修女  
五子何修 五子何修女  
五子何修 五子何修女  
五子何修 五子何修女  
五子何修 五子何修女  
五子何修 五子何修女  
五子何修 五子何修女  
五子何修 五子何修女  
五子何修 五子何修女

高橋 名... 於 彌 福... 向  
和 年 在 左 右... 以 後 少 善... 也  
流 傳 亦 亦... 也  
天 何 元 年... 也 年 十 有 五... 也  
以... 也 親 而 左 半 人... 也  
亦... 也 亦 亦... 也 亦 亦... 也  
以... 也 亦 亦... 也 亦 亦... 也  
以... 也 亦 亦... 也 亦 亦... 也  
以... 也 亦 亦... 也 亦 亦... 也  
以... 也 亦 亦... 也 亦 亦... 也

和 年 在 左 右... 也  
以... 也 亦 亦... 也 亦 亦... 也  
以... 也 亦 亦... 也 亦 亦... 也  
以... 也 亦 亦... 也 亦 亦... 也  
以... 也 亦 亦... 也 亦 亦... 也  
以... 也 亦 亦... 也 亦 亦... 也  
以... 也 亦 亦... 也 亦 亦... 也  
以... 也 亦 亦... 也 亦 亦... 也  
以... 也 亦 亦... 也 亦 亦... 也  
以... 也 亦 亦... 也 亦 亦... 也

三月廿九日  
三月廿九日  
三月廿九日  
三月廿九日  
三月廿九日  
三月廿九日  
三月廿九日  
三月廿九日  
三月廿九日  
三月廿九日

女子

母

家女

天保二壬寅年三月廿九日

永治五年

養女

実父

実母

右

養女

三月廿九日  
三月廿九日  
三月廿九日  
三月廿九日  
三月廿九日  
三月廿九日  
三月廿九日  
三月廿九日  
三月廿九日  
三月廿九日

寛政十七未年八月



末十方方方  
高川御所

系傳

氏  
高川御所

氏  
高川御所

高川御所  
永倉御所

源氏

承念

先祖承念と云ふ事は悉く承念の事なり

養之儀

九月内承念

承之儀

九月内承念

承之儀

阿貴

承念 与云々

三川殿元之任

持付記

重要

源氏

母書云々

父与云々承念の事は悉く承念の事なり

承念 与云々

神皇正統記の事は悉く承念の事なり

源氏承念の事は悉く承念の事なり

承念の事は悉く承念の事なり

承念の事は悉く承念の事なり

承念

源氏

承念

承念

承念

承念

承念

承念

承念

承念

承念の事は悉く承念の事なり

承念

源氏

母書あり

百三十二年十一月三日  
正徳元年十一月三日  
正徳四年四月廿七日  
正徳四年四月廿七日

正三十一

長前... 正三十一  
長前... 正三十一  
長前... 正三十一  
長前... 正三十一  
長前... 正三十一  
長前... 正三十一  
長前... 正三十一  
長前... 正三十一  
長前... 正三十一  
長前... 正三十一

正安

母書あり

正安... 母書あり  
正安... 母書あり  
正安... 母書あり  
正安... 母書あり  
正安... 母書あり  
正安... 母書あり  
正安... 母書あり  
正安... 母書あり  
正安... 母書あり  
正安... 母書あり

正安

母書あり

正安... 母書あり  
正安... 母書あり  
正安... 母書あり  
正安... 母書あり  
正安... 母書あり  
正安... 母書あり  
正安... 母書あり  
正安... 母書あり  
正安... 母書あり  
正安... 母書あり

安永四年八月十日  
 妻の七十九年十月十日  
 安永五年十月十日  
 安永六年十月十日  
 安永七年十月十日  
 安永八年十月十日  
 安永九年十月十日  
 安永十年十月十日  
 安永十一年十月十日  
 安永十二年十月十日  
 安永十三年十月十日  
 安永十四年十月十日  
 安永十五年十月十日  
 安永十六年十月十日  
 安永十七年十月十日  
 安永十八年十月十日  
 安永十九年十月十日  
 安永二十年十月十日  
 安永二十一年十月十日  
 安永二十二年十月十日  
 安永二十三年十月十日  
 安永二十四年十月十日  
 安永二十五年十月十日  
 安永二十六年十月十日  
 安永二十七年十月十日  
 安永二十八年十月十日  
 安永二十九年十月十日  
 安永三十年十月十日  
 安永三十一年十月十日  
 安永三十二年十月十日  
 安永三十三年十月十日  
 安永三十四年十月十日  
 安永三十五年十月十日  
 安永三十六年十月十日  
 安永三十七年十月十日  
 安永三十八年十月十日  
 安永三十九年十月十日  
 安永四十年十月十日  
 安永四十一年十月十日  
 安永四十二年十月十日  
 安永四十三年十月十日  
 安永四十四年十月十日  
 安永四十五年十月十日  
 安永四十六年十月十日  
 安永四十七年十月十日  
 安永四十八年十月十日  
 安永四十九年十月十日  
 安永五十年十月十日  
 安永五十一年十月十日  
 安永五十二年十月十日  
 安永五十三年十月十日  
 安永五十四年十月十日  
 安永五十五年十月十日  
 安永五十六年十月十日  
 安永五十七年十月十日  
 安永五十八年十月十日  
 安永五十九年十月十日  
 安永六十年十月十日  
 安永六十一年十月十日  
 安永六十二年十月十日  
 安永六十三年十月十日  
 安永六十四年十月十日  
 安永六十五年十月十日  
 安永六十六年十月十日  
 安永六十七年十月十日  
 安永六十八年十月十日  
 安永六十九年十月十日  
 安永七十年十月十日  
 安永七十一年十月十日  
 安永七十二年十月十日  
 安永七十三年十月十日  
 安永七十四年十月十日  
 安永七十五年十月十日  
 安永七十六年十月十日  
 安永七十七年十月十日  
 安永七十八年十月十日  
 安永七十九年十月十日  
 安永八十年十月十日  
 安永八十一年十月十日  
 安永八十二年十月十日  
 安永八十三年十月十日  
 安永八十四年十月十日  
 安永八十五年十月十日  
 安永八十六年十月十日  
 安永八十七年十月十日  
 安永八十八年十月十日  
 安永八十九年十月十日  
 安永九十年十月十日  
 安永九十一年十月十日  
 安永九十二年十月十日  
 安永九十三年十月十日  
 安永九十四年十月十日  
 安永九十五年十月十日  
 安永九十六年十月十日  
 安永九十七年十月十日  
 安永九十八年十月十日  
 安永九十九年十月十日  
 安永百年十月十日

女  
 母女

正親 名

正親 母女

正典 母女

母女

兼通 入江全

母女

正典 母女

正典 母女

母女

正典 母女

母女

女 母女

正典 母女

正典 母女



寛政十七年九月永倉孫河原

原

